

秋田の土地改良



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

みどり
水土里ネット秋田

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 開催まで、あと50日！全国土地改良大会秋田大会 | 2 |
| 秋田県21創造運動推進本部員会議 | 4 |
| 水土里ネット活動報告(各地の取り組み) | 5 |
| 水土里の郷 わくわく探訪 | 7 |
| 東北農政局と活動組織との意見交換会(農地・水・環境保全向上対策) | 8 |
| 水土里ネット秋田創立50周年記念式典 | 8 |
| 各種研修会(職員会総会、農地集団化総会、換地訴訟研修会) | 9 |
| 平成21年度本会(水土里ネット秋田)職員採用試験について | 11 |
| 水土里ネット秋田・内部研修(報告) | 12 |
| 連合会日誌・会員だより | 14 |
| 農地集積加速化基盤整備事業に関する要請活動(本会役員) | 15 |
| よみがえれ！江戸時代の稲穂(水土里ネット稲川) | 16 |
| 支部からの水土里通信(山本支部) | 17 |
| インフォメーション | 18 |
| 残暑見舞い | 20 |

◆発行所／秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
TEL .018-888-2750(代) FAX .018-888-2834 <http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



「ジュンサイ採り」美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品

第31回
全国土地改良大会
秋田大会

秋田大会へ
カウント・ダウン!

10月14日開催の第31回全国土地改良大会秋田が間近に迫ってきました。本会では役職員が丸一となってその成功に向けて鋭意努力しているところでございます。

なお、大会式典及び事業視察等の参加者が概ね確定しましたので、大会概要を改めて掲載させていただきます。関係者皆様方の参加をお待ちしております。

第31回全国土地改良大会を秋田市で開催いたします。

「水」は命の源であり、「大地」は豊かな恵みを与えてくれ、「郷」は食料生産の場であるとともに、人々の心のふるさと、文化の継承地であります。

「食料自給率の低下」と「食の安全・安心」が最大の関心事となっている昨今、このような課題をも踏まえ、我が国の農業・農村が国民の健康と安全に果たしている役割を広く国民のみなさんに伝えるとともに、時代の要請に対応する「農業農村事業と水土里ネット」のあるべき姿を今後どのように展開させていくのか、今こそ真剣に考えなければならぬ時です。

全国の土地改良関係者が、食料の一大供給基地である「あきた」に一同に会し、これらの課題を一緒に考え、明日の活力ある農業農村づくりのために開催するものです。

本大会が盛会に開催できますよう、「小町娘」ともども、皆様多数のご参加をお待ちしております。

水土里ネット秋田（秋田県土地改良事業団体連合会）
第31回全国土地改良大会 秋田大会運営委員会

委員長 高畑 進



▲全国大会（七夕）



第31回
全国土地改良大会 秋田大会

- 日時 平成20年10月14日(火)
- 場所 秋田県立武道館
- 事業視察 平成20年10月15日(水)~16日(木)

多数の参加をお待ちしております!!

あと 50日 (8月25日現在)



【問い合わせ先】
総務企画部全国大会開催PJ 島山・阿部・齊藤・尾張谷
TEL.018-888-2713 FAX.018-888-2834

1 大会概要

■大会式典 平成20年10月14日(火) 12:50～16:25
 ■交歓会 平成20年10月14日(火) 17:30～19:30

| | |
|----------------------------|--|
| 大会式典 | 秋田県立武道館 (秋田市新屋町字砂奴寄2-2 018-862-6651) |
| 12:50～13:30 13:30～15:15 | オープニングセレモニー 秋田の紹介・西馬音内盆踊り 1. 開会宣言 2. 国家斉唱 3. 開催県挨拶 4. 主催者挨拶 5. 歓迎の言葉 6. 来賓祝辞 7. 土地改良事業功績者表彰 8. 21世紀創造運動大賞発表及び表彰式 9. 農業農村の振興に向けた優良活動事例紹介 10. 基調報告 11. 大会宣言 12. 次期開催県紹介 13. 大会旗引継ぎ 14. 次期開催県挨拶 15. 万歳三唱 16. 閉会挨拶 |
| 歓迎アトラクション | 秋田県立武道館 |
| 15:15～16:25 | 『ようこそ秋田へ』 わらび座公演 |
| 交歓会 | 秋田キャッスルホテル (秋田市中通1丁目3-5 TEL 018-834-1141) |
| 17:30～19:30 | 来賓・県外参加者等、参加者相互の交歓会 立食buffet方式(会費制) ※大会会場(秋田県立武道館)から交歓会会場までは大会専用バスにて移動予定 |
| 併催行事 | 秋田県立武道館 |
| 9:30～17:00 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 秋田県農業農村整備事業に関するパネルコーナーを設置します。 ■ 21世紀土地改良区創造運動優良事例紹介コーナーを設置します。 ■ 農業関連学科設置高校及び県立大学の紹介コーナーを設置します。 ■ 秋田を代表する農の展示コーナーを設置します。 ■ 秋田県の各市町村を代表する物産展示販売コーナーを設置します。(試飲、試食も出来ます) |

参加状況

- 県外参加者 1,949名
- 県内参加者 1,497名
- 県内公募参加者 30名
- 来賓(県内外) 200名

大会式典参加者合計 3,676名

2 事業視察

■平成20年10月15日(水)～10月16日(木)

| | |
|-----------------------------|---|
| Aコース 北秋田・鹿角 [1泊2日] |  |
| 神秘の湖 十和田湖と 日本最古の芝居小屋を訪ねて | |
| Bコース 大潟・男鹿 [1泊2日] |  |
| 干拓地大潟村と なまはげの里を訪ねて | |
| Cコース 由利・雄勝 [1泊2日] |  |
| 紅葉の鳥海山と 小町の郷を訪ねて | |
| Dコース 平鹿・仙北 [1泊2日] |  |
| 伝説の湖 田沢湖と みちのくの小京都角館を訪ねて | |
| Eコース 大潟(日帰り) |  |
| 干拓地大潟村を訪ねて | |

- Aコース(北秋田・鹿角)
県外参加者: 116名 県内参加者: 0名
- Bコース(大潟・男鹿)
県外参加者: 303名 県内参加者: 0名
- Cコース(由利・雄勝)
県外参加者: 30名 県内参加者: 6名
- Dコース(平鹿・仙北)
県外参加者: 152名 県内参加者: 0名
- Eコース(大潟・日帰り)
県外参加者: 485名 県内参加者: 4名

事業視察参加者合計 1,096名
(県外: 1,086名 県内: 10名)

21世紀土地改良区創造運動

平成20年度第1回推進本部員会議を開催！

■運動の広がりを目指して

8月6日(水)、平成20年度第1回秋田県21世紀土地改良区創造運動本部員会議が開催され、推進本部員11名が出席した。



本部員会議は、平成20年度事業経過報告(中間)について報告が行われたほか、事例発表として平成20年度21創造運動大賞東北地方選考会推薦の水土里ネット仁井田堰の伊藤事務局長が発表を行った。

報告事項では、今年度の21創造運動大賞の経過報告や運動実施地区(予定)の概要、各種事業との連携・活用について、水土里レポーターの選定などが報告された。

また、運動の広がりに向けた意見交換では、「財政上の問題が取り出されるが、創意工夫と他の助成等を活用しながら最小限の出費で運動を実施することが大事。役職員のやる気(意識)が運動の広がりにつながる」、「農地・水・環境保全向上対策などの新たな事業や他団体との連携が、運動の広がりには必要であり、それを契機として取り組むべきである」などの意見が推進本部員から提言され、活発な意見交換がなされた。

■地域住民と農家の共有意識の醸成

事例発表では、平成20年度21創造運動大賞東北地方選考会推薦の水土里ネット仁井田堰(発表者:伊藤事務局長)が、同選考会で行ったプレゼンテーションを再現し、今年で6回目の開催となった「水土里のみちウォーキングin仁井田walk」の取り組みを紹介した。

仁井田walkは、平成15年に21創造運動の取り組みとしてスタートし、今年で6回目開催となった。毎年、参加者や連携・協力する団体も増えてきており、美しい田園風景や水辺空間など農村の持つ魅力を再発見しながら、水土里ネット

や農業水利施設の果たす役割を地域住民にPRすることを基本理念に掲げた取り組みも、成果が確実に上がってきていると感じられた。



発表の中で、伊藤事務局長は21創造運動の成果として、①協力団体の増加、②役職員やスタッフ間の連携強化、③水土里ネットの役割や存在を多くの地域住民(子供から大人まで)から知ってもらうことができた、などを上げていた。

また、今後の展開として、他事業や地域住民・教育機関との連携強化、運動計画の再構築などを掲げており、これからも運動の継続性、発展性が期待できる取り組みであると考えている。

■水土里レポーターの選任について

21創造運動や水土里ネットの地域における活動などを情報発信してもらおうと、今年度も地域水土里レポーターを選任(各管内・支部から1名)しました。

21創造運動の更なる浸透を図るため、今まで埋もれていた地域にある「ちょっといい話」を拾い上げて行きたいと思います。各地域の情報・話題などがありましたら、お近くの水土里レポーター又は21創造運動推進本部事務局(総務企画部広報・渉外班 TEL.018-888-2742)まで、お知らせください。

◇平成20年度・水土里レポーター

| | |
|-------|-------------|
| 原田 政子 | 水土里ネットかづの |
| 菅原 喜博 | 水土里ネット二井田真中 |
| 畠山 篤美 | 水土里ネット浜口 |
| 伊藤 清栄 | 水土里ネット仁井田堰 |
| 須田 久 | 水土里ネットにかほ |
| 藤岡 義博 | 水土里ネット七滝 |
| 吉田 一則 | 水土里ネット雄物川筋 |
| 高橋 和美 | 水土里ネット湯沢中央 |

水土里ネット 活動報告

■メロンの里、畑地かんがい施設見学会 —水土里ネット浜口—

7月15日(火)、水土里ネット浜口(三種町浜口土地改良区)は、地元の八竜中学校(加賀英与校長)3年生63名を対象に、畑地のかんがい施設見学会を実施した。

この日は、初めて中学生を対象に施設見学会が開催され、開講式での三浦理事長(水土里ネット浜口)



の挨拶に引き続き、水土里ネット職員の案内で畑地かんがい施設、トラクターによる耕起作業体験、スプリンクラーの散水状況見学、メロンの収穫体験など多彩な内容で行われた。

生徒たちには事前に説明用パンフレットが配布されていたが、実際には初めて土地改良施設を見学する生徒がほとんどで、興味深そ



うに畑地かんがい施設や管理する水土里ネットの役割について熱心に説明を聞いていた。

メロンの収穫体験では、農家の方から完熟したメロンの品種や見分け方等を聞



いた後に一齐に宝(メロン)探しが始まり、生徒たちは真剣に品定めをしながらも楽しそうにハサミを入れて収穫していた。今回は、農業は楽しいと感じてくれている生徒が多く見受けられ、校長先生をはじめ各先生方の積極的な協力で有意義な施設見学会を実施することができ、地域農業の将来を担う若者が誕生してくれることを期待したいと願っている。

なお、参加した生徒からの感想文と、加賀校長先生からお礼のメッセージが水土里ネットに届いておりますので、紹介させていただきます。



校長先生 (お礼)

「毎日の食卓、メロンなの」と苦笑いするものの、直接自分で収穫したメロンを手にとってみると、宝石でも持っているかのようにほほ笑んでいる。実体験の少ない現代っ子でも、地域には、宝物が豊富に眠っているようです。八竜の特産品となっているメロンも、開拓からこれまでの歴史を見ると、その苦悩が、そして、今が。生徒の多感な時機に、身近な存在すら忘れがちな地域の学校に新風、いや不易なものを与えて下さいました。

三種町浜口土地改良区の皆様はじめ、多くの方々のご協力とご支援に感謝するとともに、次代を担う生徒に、これからも多くの宝物を提供して下さいますようお願い申し上げます、お礼とさせていただきます。

三種町立八竜中学校

校長 加賀 英与



生徒（感想文）

私は今回初めてメロンの収穫を体験しました。メロンの収穫の仕方やコツなどを親切に教えてもらったりしたおかげで楽しい時間を過ごすことができました。

その他に初めて知ったことがあります。それはいつも私達が食べている野菜やメロンなどは、八郎潟の水を利用して作っているということです。いつもなにげなく食べている物にはいろいろな人の工夫や努力が詰まっていると改めて感じることができました。

今回の「メロンの里、畑地かんがい施設見学会」では土地改良をはじめたくさんの方々にお世話になりました。また、トラクターによる耕起作業体験などいろいろな事をさせてもらうことができてよかったです。本当にありがとうございます。

三種町立八竜中学校 三年 榎森 彩花

メロン施設見学会を終えて、僕は改めて自分のふるさとの自然が素晴らしいことを感じました。

今まではふるさとの自然のことを考えたりはしていませんでした。でも、今回の見学会でメロンができるまでの一つの作業を経験して地域の人々ががんばっていることが分かりました。

僕の家もメロンを作っています。僕も手伝ったことがあるのでメロン作りの大変さがよく分かります。

こうしてメロン作りができるのも土地改良の人達が畑地かんがい施設の管理をしっかりやってくれているからだと思います。十年先も二十年先も八竜の特産品であるメロンが食べられるようにこの環境と施設を守ってほしいです。

最後に今回僕達にこのような機会を与えてくれた土地改良のみなさん、本当にためになりました。ありがとうございます。

三種町立八竜中学校 三年 畠山 祐希

■鹿渡小学校による農業施設見学会

—水土里ネット琴丘—

6月19日(木)、三種町立鹿渡小学校5年生25名を対象に水土里ネット琴丘(琴丘土地改良区)が農業施設見学会を開催した。

この取組は、21創造運動並びに国営造成施設管理体制整備促進事業の推進活動の一環として行われたもので、「田んぼの水の話～田んぼの水はどこからどこへ～」をテーマに、田んぼの水がどこから流れてきて、どうやって田んぼに入り、どこへ行くのか、その仕組みを直接現地を訪れながら学



習した。

見学した施設はいずれも同水土里ネットが管理する羽根川ダム、ヒダケため



池、糸流川ポンプ場、地先干拓排水ポンプ場などで上流から下流へと順次水の流れに沿った形で各施設を見学した。

各施設では、水土里ネット職員が施設の仕組みや役割などを分かりやすく説明し、子供たちは熱心に説明に聞き入っていた。

今回の見学会を通して、子供たちが普段何気なく目にしている田んぼや農業施設の役割を理解し、今後も関心を持ってくれることを期待したい。



「水土里の郷 わくわく探訪」開催される!!

— 寒風山の湧き水で、水のおいしさを体感 —

6月28日(土)、農業・農村の多面的機能や、農業用水の役割・重要性を子供たちに学んでもらおうと「水土里の郷 わくわく探訪」が、潟上市と男鹿市、大潟村で行われた。秋田市と潟上市の小学生とその保護者約70名が参加、ため池や排水機場などの農業用施設を巡り、それぞれの役割を学んだ。

「わくわく探訪(土地改良施設巡り)」は、子供たちに農業水利施設などを見学してもらい、



龍毛ため池で説明に聞き入る参加者

農業・農村について理解と関心を持ってもらおうと水土里ネット秋田(秋田県土地連)が平成9年から始めたイベントで、今年で通算12回目の開催を迎えた。今回は、3年ぶりに秋田管内で行われ、農業用水に係る施設を中心とした探訪が、県秋田地域振興局、八郎潟基幹施設管理事務所、水土里ネット大潟、水土里ネット五里合、男鹿市などの関係機関の協力を得ながら開催された。

今回は、潟上市昭和豊川の龍毛ため池、大潟村の南部排水機場、農業用サイフォン(取水口)、男鹿市の滝の頭湧水などの施設を見学した。

このうち、南部排水機場では、海面より低い干拓地が水浸しになるのを防ぐため、雨水や排水をくみ上げる役割などの説明を受けるととも



南部排水機場内の施設を見学

に、大潟村誕生の経緯についても学んだ。子供たちはノートに要点をメモしたり、排水ポンプな

どをカメラに収めていた。また、ポンプからの排水の模様も実演され、吹き上がる水しぶきに



農業用サイフォンから取水した用水

歓声が上がっていた。

参加した小学生は「環境や水をテーマにした夏休みの自由研究に役立てたいと思って参加したが、排水機の大きさに驚いた」と話していた。

また、午後からは滝の頭湧水(男鹿市)を見学。滝の頭を管理する男鹿市五里合土地改良区の佐々木理事長が歓迎の挨拶を行い、その後寒風山が貯水している地下水のほぼ7割が湧水となって湧き出している湧水源、歴史的な施設の円形分水工、水道水の浄化施設、隣接するため池等を男鹿市や同土地改良区の担当者の案内により、機能や役割について説明していただいた。ここでは、湧水源からペットボトルなどに水をくみ取り、美味しそうに冷たい水を飲み干している子供たちの姿が印象的だった。

水に係わる土地改良施設等を見学した「わくわく探訪」も、参加した子供たちは各地で説明



滝の頭の湧水源、記念写真

に対し熱心にメモを取ったりする姿が見受けられ、ふるさと「あきた」の水や農業に対する関心が広がったことと思います。

今後も、この「わくわく探訪」を通じて、子供たちの「水」「土」「里」に対する理解と関心を広める活動を継続して行きたいと思っている。

秋田県 農地・水・環境保全向上対策地域協議会

■平成20年度 東北農政局と活動組織との現地意見交換会

7月23日、秋田市御野場地区（御野場地域センター）で「農地・水・環境保全向上対策に係る活動組織との現地意見交換会」が開催され、東北農政局担当職員をはじめ、県内の各活動組織、県及び市町村担当者など約110名が出席した。



意見交換会は、三浦貞一地域協議会長（水土里ネット秋田専務理事）が「この対策は2年目を迎え、

全国でもトップクラスの規模で秋田のふるさとを守り継ぐ県民運動として展開しているが、地域に定着させるには、真に県民に親しまれる制度にして行く必要がある。今年も、共同活動をもっと柔軟に取り組めるように、支部協議会においても活動組織とのコミュニケーションを深めるなど、支部体制を強化していくこととしている。本日は、素晴らしい取り組みや問題点などを発表していただき、明日からの活動に繋がる意見交換をお願いしたい」と挨拶した。



引き続き、農政局担当者から同対策の実施概要や情報提供があったほか、上野あぜみち会（秋田市）からの現地状況視察の報告、県内10活動組織による各取り組みを紹介した事例発表が行われた。



また、共同活動等に関する意見交換では、活動組織から各地域での現状や課題などについて活発な意見が交わされ、各活動組織からは「もっと事務手続き等が簡素化出来ないか」、「交付金の支払時期を早くして欲しい」、「活動経費の資金使途制約が厳しい。もっと柔軟に対応できるように検討してもらいたい」、「事業終了年度以降も、本事業を引き続き継続してもらいたい」などの意見や要望が寄せられていた。



主催した東北農政局の担当職員は、「現地視察や事例発表、意見交換等を通じて地域の実情を知ることができ、活動組織の方々の苦勞を身近に感じることができた。様々な意見、要望等をいただいたが、みなさんには引き続き同対策の推進に向けて、積極的な取り組みをお願いしたい」と総括した。

秋田県土地改良事業団体連合会 創立50周年記念式典

日時：平成20年 **11月11日**（火） 午後2時00分～

場所：秋田キャッスルホテル

〒010-0001 秋田市中通1-3-5 TEL.018-834-1141

■ ■ ■ 各種研修会 ■ ■ ■

平成20年度第48回通常総会開催

～秋田県土地改良事業団体職員会～

平成20年6月27日(金)、秋田市のシャインプラザ平安閣を会場に、会員112団体368名のうち、359名(委任出席240名)の出席を得て、秋田県土地改良事業団体職員会第48回通常総会が開催された。

はじめに、鈴木英弘副会長(秋田市孫左衛門堰土地改良区事務局長)より挨拶があり、続いて長期に渡り土地改良区運営及び職員会の発展に寄与のあった9名に対して、功労者表彰が行われた。

表彰終了後、来賓である秋田県農林水産部農地整備課の村上克朗課長、秋田県土地改良事業団体連合会(水土里ネット秋田)の三浦貞一専務理事からの祝辞を頂き総会議事へと移った。

山内幸雄議長(北秋田市鷹巣土地改良区事務局長)の進行により、平成19年度事業報告・会計収支決算及び平成20年度事業計画・会計収支予算等の議案について、それぞれスムーズに承認・可決された。また、任期満了による役員を選任も行われ、新会長には鈴木英弘副会長が満場一致で選任された。

土地改良関係職員の減少等により様々な影響も懸念されるが、これからも県内土地改良区職員の様々な活動への一助となる運営継続を期待したい。

なお、選任された新役員及び功労者表彰の受賞者は次のとおり。

■職員会新役員

(任期：平成20年6月27日～平成23年6月総会)

- ・会長 鈴木英弘(秋田市孫左衛門堰土地改良区)
- ・副会長 堀 芳直(内越土地改良区)
北林正志(田代町土地改良区)
武田孝雄(秋田県仙北平野土地改良区)

■功労者表彰受賞者

◇佐々木拓也(大館市南土地改良区)、塚本陽子(山本郡藤里町藤琴土地改良区)、三戸悟(男鹿市払戸土地改良区)、堀井あけみ(仁井田堰土地改良区)、畠山智子(潟上市天王土地改良区)、藤井孝喜(秋田県七滝土地改良区)、小野充(秋田県雄物川筋土地改良区)、高橋勝子(秋田県南旭川土地改良区)、佐藤達也(秋田県雄物川筋土地改良区)

功労者表彰受賞おめでとうございます。



秋田県農地集団化推進協議会

第48回通常総会を開催

6月27日(金)、秋田ビューホテル(秋田市)において秋田県農地集団化推進協議会第48回通常総会が、会員及び関係者ら約80名が出席して開催された。

総会では、大高貢会長(秋田県能代地区土地改良区理事長)が「昨年からはじめた水田経営安定対策により、集落営農組織を含めた担い手が主体となる農業構造改革が加速化され、認定農業者や集落営農への農地の集積、集団化を進めることが必要不可欠になっている。今後も本協議会として関係機関との緊密な連携のもとに農用地等集団化事業の一層の推進を図って行きたい」と挨拶。引き続き平成20年度農地集団化事業優良地区及び功労者表彰として、9地区と2個人の表彰が行われた。



その後、県農林水産部農地整備課の村上克朗課長、本会の三浦貞一専務理事などの来賓祝辞に続き、議事に入り、平成19年度事業報告及び収支決算の承認、協議会財政調整基金について、平成20年度事業計画及び収支予算案などについて審議を行い、いずれも原案どおり可決承認された。なお、今年度の受賞は次のとおり。

【優良地区表彰】◇鯉川地区(琴丘土地改良区)◇中渡地区(峰浜土地改良区)◇母体地区(能代市東土地改良区)◇大台野地区(秋田県能代地区土地改良区)◇井川東部地区(井川町土地改良区)◇種沢地区(雄和中央土地改良区)◇及水地区(大仙市)◇土崎・小荒川地区(美郷町千畑土地改良区)◇境町北部地区(秋田県南旭川水系土地改良区)

【功労者表彰】◇仲村力夫(大仙市大曲土地改良区理事長)◇佐藤清春(おものがわ土地改良区理事長)



問題解決に向けた知識の習得！

平成20年度北海道・東北ブロック土地改良換地関係訴訟検討会

7月31日(木)と8月1日(金)の2日間、秋田市などを会場に平成20年度北海道・東北ブロック土地改良関係訴訟検討会が開催され、北海道及び東北各県から農政局や法務局、道県並びに水土里ネット(土地連)の担当者など関係者ら約80名が出席した。

検討会では、本会の三浦専務理事が「農林水産省では農地利用集積や耕作放棄地対策などの農地対策を今年度の重点施策として位置づけているが、昨今の換地処分や農地集積においては農村地域の社会構造の多様化に伴い、換地をめぐる異議・紛争や訴訟に発展するケースも多く、問題解決に向けては高度な専門知識と適切な判断が要求される。今回の検討会は訴訟法手続き関係の講演に引き続き、テーマを絞って各県の皆さんから協議していただくことにしている。これからの換地業務に適切に反映させるべく有



意義な検討会にしていただきたい」と挨拶。

その後、開催県として秋田県農林水産部の川原次長が、来賓として仙台法務局の伊良原訟務部長、東北農政局の中野農村計画部長がそれぞれ挨拶を述べた。

引き続き、検討会に入り、仙台法務局訟務部長の山崎敬二検事を講師に「行政事件訴訟法について」の基調講演が行われた。また、協議事項として「創設非農用地取得の同意の取扱いについて」、「換地処分登記における所有権の現地表示について」をテーマに協議が行われ、各県からの問題提起から、各道県及び農林水産省、法務局がそれぞれ立場で意見を述べるなどテーマに沿った形で参加者が活発な意見交換を行った。

2日目は現地研修として、大仙市協和の経営体育成基盤整備事業「小種地区」の視察が行われ、農地集積及び転作地の団地化・ブロックローテーション化による複合経営を目指すとして平成17年に設立した「農事組合法人たねっこ」の関係施設などを見学した。



事業終え現地で完成式 ～関係者が「石碑除幕」を行い喜び合う～

秋田県が大館市川口地区で整備を進めていた経営体育成整備(高度利用型)事業の完成式が8月1日(金)午後から現地で行われ、関係者が神事や竣工記念碑(碑題「業成して恵潤う肥沃の地」・・・大館市長 小畑 元氏)の除幕式で6年越しの事業完了を喜び合った。

同地区は昭和42～45年にかけて構造改善事業で水田が30アール区画に整備されていたが、地区内水路は殆どがコンクリート装工されているものの、老朽化による水路側壁の倒壊や法面崩壊などによって通水能力の低下をきたしていた。また排水路は水路底が高く乾田化及び耕地の汎用化の阻害となっていた。さらに、農道は農地より高過ぎるため、効率的な農作業の支障となっていた。

このため、平成14年度に国の「経営体育成基盤整備事業」に着手し、用排水路や農道の整備を行

い、汎用化及び維持管理費の低減、さらには経営体育成を図りながら田畑複合経営を確立して、農業経営の安定を達成するため、平成14年度から6カ年で整備を進めていた。受益面積は82.0ヘクタールで、受益者は144戸。総事業費は3億6,600万円。

完成式には関係者約50人が出席して現地で行われ、施設管理者である水土里ネット下川沿(大館市下川沿土地改良区)の長崎祥悦郎理事長はじめ、県北秋田振興局の藤原正農林部長、小畑元大館市長、虻川久崇市議会議員、設計・施工者代表として本会の戸沢正巳北事務所長(会長代理)らが石碑の除幕を行い、完成を喜び合った。

除幕式終了後は、場所を市立下川沿公民館に移動して、「竣工祝賀会」を開催し、虻川哲一川口横岩水利組合長の「万歳三唱」により事業の完成式を終了した。



平成21年度職員採用試験受験案内

秋田県土地改良事業団体連合会

- 第1次試験 平成20年10月24日(金)
 ■願書締切日 平成20年10月10日(金)

- 試験会場 秋田県土地改良会館
 ■問い合わせ・資料請求・受験申込み
 秋田県土地改良事業団体連合会
 総務企画部総務班
 〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37(秋田県土地改良会館内)
 TEL.018-888-2750 FAX.018-888-2834
 e-mail:soumui@akidoren.com

1. 試験区分、採用予定人員及び職務内容

| 試験区分 | | 採用予定人員 | 職務内容 |
|------|------------------------------|--------|--------------------------------|
| 高校卒 | 農業土木(一般土木含む)又は農業工学系の科目を履修した者 | 1名 | 農業農村整備事業の推進に資するための専門的技術業務に従事する |
| 大学卒 | | 1名 | |

2. 受験資格

(1)高校卒

平成21年3月までに高校を卒業又は卒業見込みの者で、昭和63年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者。

(2)大学卒

平成21年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者で、昭和60年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた者。

3. 試験の日時及び場所

(1)第1次試験

- ア. 日時 平成20年10月24日(金)午前9時30分から
 ・教養試験 9時30分～11時00分
 ・専門試験 11時15分～12時15分
 ・論文試験 13時00分～14時00分

イ. 場所 秋田県土地改良会館(秋田市高陽幸町3-37)

(2)第2次試験

ア. 日時 平成20年11月中旬

イ. 場所 秋田市

※第2次試験の詳細については、第1次試験合格通知の際にお知らせします。

4. 試験の種目及び方法・内容

[第一次試験]

- ・教養試験 一般的知識及び知能についての筆記試験
- ・専門試験 農業土木に必要な専門的知識についての筆記試験
- ・論文試験 文章による表現力、理解力、文章構成力等についての試験
課題1門について作文

[第二次試験]

- ・口述試験 人物についての個別面接による試験
- ・身体検査 健康診断書の提出を求め、職務遂行に必要な健康を有するかどうかの検査

【教養・専門試験出題分野】

高校・大学で試験内容は異なる

| 試験区分 | 問題形式 | 出題形式 |
|------|---------------------------|--|
| 教養試験 | 択一式 20問 90分 | 政治、経済、論理・社会、世界史、日本史、地理、国語、文学・芸術、数学、物理、化学、生物、地学、文章理解(現代文・英語)、判断推理、数的推理、資料解釈 |
| 専門試験 | 農業土木 択一式 10問 90分 | 応用力学、水理、土質、測量、鉄筋コンクリート |

5. 資格調査

受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について。

6. 合格発表

- ・第1次試験合格発表 平成20年10月下旬
- ・最終合格発表 平成20年11月下旬
合格者には書面で通知します

7. 採用予定

- (1)採用は平成21年4月1日。
 (2)申込書記載事項等に虚偽の申告があった場合には、採用されないことがある

8. 勤務条件

(1)給与

- ア. 本会職員給与規程により基本給、扶養手当、住宅手当、賞与、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給要件に応じて支給
 イ. 年1回の昇降給は、人事考課による

(2)勤務時間

原則として、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで

(3)休暇

年間20日(採用年は12日)の年次休暇や療養休暇、結婚休暇・出産休暇などの特別休暇

水土里ネット秋田 内部研修(報告)

■施設機能診断現地研修を開催



▲研修の概要説明

本会の管理専門指導員を対象に今回、施設診断が総合的に判断できる知見と、技術を持った専門技術者の育成を図るため、土地連で装備している機器を使った診断技術向上の現地研修を内部職員（コンクリート診断士、電気主任技術者等）を講師に開催しました。（7月8日）

新城川土地改良区（秋田市）のご協力を得て、槻木頭首工においてコンクリート構造物の調査ポイントについて講義された後にはシュミットハンマーでの圧縮試験や鉄筋のかぶり厚を探查する電磁誘導試験、鉄筋腐食・中性化試験（はつり法）を体験した他、ゲート設備に関しては実際に超音波板厚計による鋼材の板厚測定、塗装膜厚計による塗膜厚の測定などを行った。

次に、ポンプ設備について「堀内揚水機場」に移動し、ポンプ、モーターの診断ポイントについては「音、振動、温度等の異常」がないか点検する事が重要で、劣化状態、漏洩等についても点検するものとし、異常がある場合は測定機器等を使

い判断するようになるとの説明をうけた。

聴診棒を使つての異音チェックが有効であることも体験した他、振動計、温度測定器などの機器を初めて見る人もいるなど、有意義な研修で、今後の定期診断や要請診断等に成果が期待されるものとなった。



▲モーターの点検ポイント

■施設の長寿命化にむけて

「農業水利施設のデータベース化に向けた土地連の取り組み」

1. 農業水利施設台帳の整備

ストックマネジメント事業の機能保全計画策定を見据えて「農業水利施設台帳の整備」情報収集に努め、定期診断、要請診断時に現在ある施設台帳を順次修正し整備していく考えであります。

（主な事項は下記）

・施設の諸元、診断結果、事故・補修履歴、前

歴事業等

- ・維持管理費の推移（性能低下、劣化進行の把握）
- ・設計図書の有無（対策工法の重要資料）

具体的には、現有施設台帳の精度を高めるため、定期診断時に土地改良区内の施設について、「施設の諸元や補修履歴」などについて情報収集を図る。

又、定期診断施設以外の農業水利施設台帳は順次追加整備していく予定です。

担当者が伺った時にはよろしくご協力をお願い致します。

2. 農業水利施設の地図情報システム（GIS）の構築

水土里情報利活用促進事業等を活用したシステムを構築し、データベースを随時容易に検索・更新・編集できるようにしていく。

具体的には、図形情報（GIS）による水路名、施設名等位置の把握や、属性情報

（施設の諸元・補修データ等）を整備し、維持管理に役立てるものとしたいと思っております。

とめた内容で発表された。

質疑では、施設の改善による建屋等の構造上に問題は生じないか、施工時の仮設の処理能力や処理方式など技術的な質問や意見が交わされ、今後期待されるよりよい成果づくりとあわせて機能強化事業への取り組みに有意義な内部研修となった。

おわりに、担当部長より「パワーポイントのまとめ方の評価や、顧客がより分かりやすい資料の作成」、「満足する成果でなければならない」などのアドバイスがなされ、今後も四半期に一度をめどに他の事業においても報告書形式の発表会を行うことで終了した。



■ 業務成果発表会で成果説明力向上研鑽

環境整備部では、さる7月30日(水)今年度第1回業務成果発表会を開催した。業務の成果となる報告書等の説明力向上を図ることを目的に開催されたもので、研修では資料となるペーパーは使用せずパワーポイントを使って、農業集落排水事業の機能強化（全国研修会）について参加した集落排水班の職員が処理方式の切り替え事例をもとに、施工計画から施工時の安全面や留意点などについて分かりやすく、見やすくま



連 合 会 日 誌

| | | |
|-------|------------------------------------|-----------|
| 6月24日 | 地球人会議運営委員会 | 本会「第1会議室」 |
| 6月28日 | 種沢地区基盤整備事業記念碑除幕式並びに竣工式 | 秋田市雄和 |
| 7月1日 | 21世紀土地改良区創造運動大賞 地方選考委員会 | 仙台市 |
| 7月3日 | 全国農業集落排水事業推進協議会第19回通常総会 | 東京都 |
| 7月15日 | 第1回秋田県農地・水・環境保全向上対策に関する検討委員会 | 県庁7F |
| 7月15日 | 第4回監事会・第2回理事会並びに第2回役員会(～16日) | 北秋田市 |
| 7月23日 | 第1回大館・北秋田支部運営委員会 | 北秋田市 |
| 7月29日 | 仙北西地区圃場整備推進協議会通常総会 | 仙北市 |
| 7月31日 | 中澁川地区特定農業用管水路等特別対策事業地域環境検討委員会設立委員会 | 大仙市 |
| 8月1日 | 川口地区経営体育成基盤整備事業竣工祝賀会 | 大館市 |
| 8月4日 | 都道府県土地改良事業団体連合会会長・事務責任者合同会議 | 東京都 |
| 8月6日 | 平成20年度第2回会長・副会長会議 | 本会役員室 |
| 8月8日 | 県・市町村等への要請活動(農地集積加速化基盤整備事業) | 秋田県 |
| 8月18日 | 第96回秋田県農業会議総会 | 秋田市 |
| 8月19日 | 平成20年度水土里情報整備推進部会 | 本会「第1会議室」 |
| 8月19日 | 農山漁村地域力発掘支援モデル事業「アドバイザー・ミーティング」 | 東京都 |
| 8月22日 | 秋田県土地改良事業団体職員会「女性セミナー」 | 秋田市 |

今 後 の 予 定

| | | |
|--------|--|----------------------|
| 8月26日 | 平成20年度農業農村工学会大会講演会秋田大会(～29日) | 秋田市「秋田県立大学秋田キャンパス講堂」 |
| 8月28日 | あきた農地・水・環境保全フォーラム | 秋田市「秋田県立大学」 |
| 9月3日 | 全土連創立50周年記念式典 | 東京都 |
| 9月6日 | 2008秋田中山間ふるさと水と土現地見学会 | 美郷町、大仙市 |
| 9月7日 | あきた 食料・環境・ふるさとを考える地求人フォーラム2008 | 秋田市「秋田市文化会館」 |
| 9月8日 | 平成20年度換地計画・農地連担化促進研修 | 秋田市 |
| 9月12日 | 秋田県農業担い手フォーラム'08 | 秋田市「県庁第2庁舎」 |
| 9月25日 | 平成20年度基幹水利施設管理技術者育成支援事業担当者技術研修会(～26日) | 茨城県土浦市 |
| 9月30日 | 第2回東北・北海道土地連絡協議会事務責任者会議(～10/1) | 北海道 |
| 10月22日 | 平成20年度基幹水利施設管理技術者育成支援事業東北ブロック研修会(～24日) | 仙台市 |
| 10月30日 | 土地改良施設診断・管理指導等に関する事例集作成ブロック検討会(～31日) | 青森市 |
| 10月30日 | 第131回秋田県種苗交換会(～11/5) | にかほ市 |

会 員 だ よ り

「大館市農林課」移転のお知らせ

○大館市農林課は、下記住所に移転しましたのでお知らせします。

住 所：〒017-0897

大館市三の丸13番地19号

電話番号：0186-43-7073(変更なし)

FAX番号：0186-42-8570(変更なし)

業務開始：平成20年7月28日

新事業所長の就任について

○東北農政局平鹿平野農業水利事業所は、8月1日付けで所長が下記のとおり就任されました。

所 長 有 森 正 浩

新会長就任のお知らせ

○秋田県農業協同組合中央会は、6月26日付けで会長が下記のとおり就任されました。

会 長 木 村 一 男

新理事長就任のお知らせ

○新城川土地改良区は、7月2日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 安田 友一

○秋田県仙南土地改良区は、7月2日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 鈴木 敏夫

○秋田県仙北平野東部土地改良区は、7月17日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 藤澤 節郎

○平鹿郡大雄村田根森土地改良区は、7月29日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 佐井 祐助

○稲川土地改良区は、8月2日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 遠藤 啓治

○秋田県仙北南部土地改良区は、8月5日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 高橋 周作

○田代町土地改良区は、8月5日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 斉藤 一



「農地集積加速化基盤整備事業」に関する要請活動

■ 本会・正副会長が要請活動

本会の高畑会長をはじめ小林副会長、高橋副会長、古谷副会長及び三浦専務理事が、8月8日(金)、県庁及び市町村会を訪れ、寺田秋田県知事などに「農地集積加速化基盤整備事業」に関する要請活動を行い、同事業への取り組みと支援について要望した。

秋田県関係部署への要請事項

日頃から、本県農業農村整備事業並びに水土里ネット業務の推進に格別のご指導、ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

本県は、これまでも我が国有数の食料供給基地として、高品質で安全・安心な農産物の生産に努めてきておりますが、その生産基盤は全国平均を上回る整備率(72%)となるなど、担い手の育成や担い手への農地集積が一体化に推進されてきているところであり深く感謝申し上げます。

このような中、国ではさらに国内農業の体質強化を図るため、面的なまとまりを重視した担い手への農地集積を一層推進する「農地集積加速化基盤整備事業」を創設し、特に中山間地域等条件不利地域においては更に補助率の嵩上げを行うこととしております。

本県においてもこれらの地域では、高齢化の進行による担い手不足や過疎化による集落機能の低下など依然として厳しい状況にあることから、基盤整備事業を契機とし元気で活力ある地域農業の実現に向けた取り組みが必要不可欠であると存じます。

つきましては、本会においても新たな制度に積極的に取り組んでまいりますので、県におかれましてはこれまでと同様特段のご支援をお願い申し上げます。

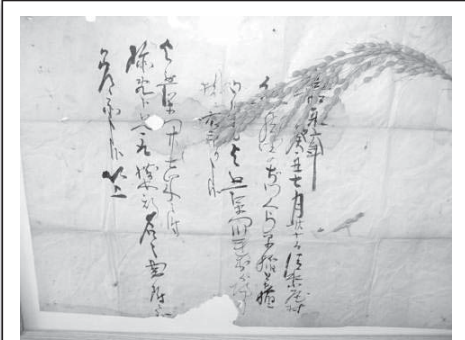
よみがえれ！

江戸時代の稲穂

(水土里ネット稲川)

湯沢市三梨町京政の麻生敏見さん宅には江戸時代の後期、嘉永6年(1853年)の稲穂五種類を標本にして保存しています。

麻生さん宅は湯沢市旧稲川町の皆瀬川左岸の水田をかんがいする与惣右エ門堰を開削した末裔にあたります。麻生家は代々与惣右エ門を襲名しており、堰開削の完成(元禄14年)から下ること150年余り、何代目の与惣右エ門さんかは分かりませんが、自分の稲穂だけでなく地域のおそらく良く出来た稲を保存したのだと思われます。



稲穂の標本、嘉永6年の年号と採取場所、品種などが書かれています。



▲麻生家の方々が見守る中、稲の種が採取されました。

発見当時は和紙に包んであり嘉永6年の年号とどこの誰の、稲の品種などが墨書され、木箱に入れられ、天井裏に保存されていたそうです。

麻生さんに発芽試験をさせてと依頼したところ、快く承諾してください、このたび雄勝地域振興局の方の手によってサンプルを五粒ほどずつ採取したところです。

振興局の方の話によると発芽させるのは無理かもしれないとのことでしたが、江戸時代の稲がよみがえればと麻生さん共々期待しているところです。

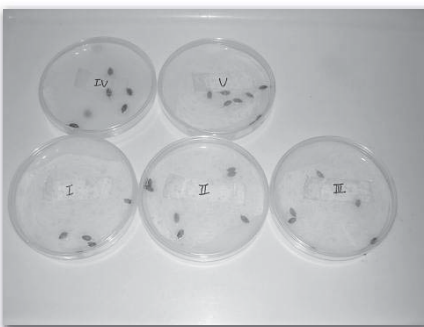
そして、その稲を地域の子供たちに植えてもらい、収穫し、江戸時代の米はどんな味だったかを体験させたいものだと思います。子どもだけでなく地域の方全員が興味を示すことでしょうか。地域活性化に繋げることも可能かもしれません。夢はどんどん膨らんでいきます。

よみがえれ！江戸時代の稲穂よ！



▲麻生さんの熱いまなざしの中、緊張気味に振興局の方の手によって、採取されました。

嘉永六年の稲穂、発芽せず！残念



▲シャーレの中で行われた発芽試験

雄勝地域振興局で取り組んでいた嘉永六年の稲穂の発芽試験でしたが、残念ながら発芽しませんでした。雑草の種などとは違って当初から発芽させるのは相当難しいとは聞いておりましたが、本当に残念です。

麻生さんのお宅では、将来科学が進歩して発芽させる技術なり、DNAから復元させるなど出来たらと、これからもこの標本を大切に保存していくそうです。

支部からの

水土里通信

山本支部

砂の芸術

「サンドクラフト2008 in みたね」より

水土里レポーター：水土里ネット浜口 畠山篤美

砂の彫刻の祭典「サンドクラフト2008 in みたね」が7月26日、27日の両日、三種町釜谷浜海水浴場で開催されました。今年のこのイベントは「砂人がおりなす夢と感動」をテーマに開催され、今回で12回目になります。



今回の砂像はメイン砂像と中型、小型砂像合わせて48作品が展示されましたが、中でもメイン砂像の「天秤」は高さ4m以上にもなる大作で精巧に作られた芸術でした。

初日は好天にも恵まれ約3万人が訪れ、家族づれやカップルなどが砂像の前で歓声を上げ記念撮影をする姿がみられました。

また、砂像体験コーナーや砂像写真展、地元の幼稚園や保育園児による発表や能代の「べらぼう太鼓」のステージもあり、大変な盛り上がりを見せていました。



最後には4,500発の花火が打ち上げられ、夜空を鮮やかに彩っていました。

二日目は毎年恒例となりました水着コンテストが行われたこともあって約3万2千人が訪れました。男女19人が参加し特に女性たちは自慢の水着と健康的な魅力をアピールしていましたが、中にはマスクを被って「スパイダーマン」にふんした男性や子供と一緒に参加した女性もおり、会場は大盛り上がりでした。なお、このコンテストの審査委員長はテレビでおなじみの橋本五郎さんで、7月29日の「ズームイン朝」でこの時の様子を紹介していました。



また、メロンの早食い競争やフリースロー大会、超神ネイガーショーなど夕方まで多彩な催しが繰り広げられ、会場には町の物産店や屋台も数多く出店し訪れた人たちはイベントに参加したり砂像をじっくり観賞しながら夏真っ盛りの開放感を楽しんでいました。

来年は三種町釜谷浜海水浴場の素晴らしい「砂の彫刻と水着コンテスト」に是非足を運んではいかがでしょうか。

インフォメーション



あきた食料・環境・ふるさとを考える 地球人フォーラム2008 開催案内

テーマ 「共に語り考える 水土里の水源」

日時 9月7日(日)13:00~16:05(開場12:30)

場所 秋田市文化会館・小ホール(秋田市)

定員 400名(入場無料)

■基調講演

演題/「ふるさとと私」 講師/浅利香津代さん(女優・秋田市出身)

■あきた・トーク(秋田弁によるふるさとトーク)

テーマ「あきたの水と食」

コーディネーター

あゆかわのぼるさん(詩人・エッセイスト)

トークゲスト

浅利香津代さん(女優)、大石清美(イラストレーター)

黒崎一紀(FM椿台代表取締役)

■秋田県21創造運動表彰式

■水土里の活動報告

【問い合わせ・参加申込先】

あきた 食料・環境・ふるさとを考える
地球人会議

[事務局]水土里ネット秋田

(秋田県土地改良事業団体連合会)

TEL.018-888-2742 FAX.018-888-2834

2008秋田県中山間ふるさと水と土フォーラム

現地見学会のご案内

- 六郷湧水、七滝涵養林と棚田・分水工、鈴木酒造店、坂本東嶽邸、池田氏庭園、払田柵跡など
 - 日時：9月6日(土) ●場所：美郷町・大仙市 ●定員：80名
 - 参加費：無料(但し、当日「地産地消弁当」を用意しています。実費負担1,500円になります。)
 - 当日は貸切バスを運行予定 出発：秋田県庁(7:50発)、秋田駅東口(8:00発)
 - 主催：秋田県 ●協力：秋田県七滝土地改良区、大仙市、美郷町 ●後援：水土里ネット秋田
- 【問い合わせ・申込先】秋田県農山村振興課 TEL.018-860-1852 FAX.018-860-3815

写真コンクール・応募締切せまる

『第11回美しく豊かな農村づくり写真コンクール』の締め切りが間近にせまってきました。

県内の農村風景を撮影した写真を募集しております。皆様のご応募をお待ちしております。

(締め切り) 平成20年9月10日(当日消印有効)

【問い合わせ先・応募先】

〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37

水土里ネット秋田(秋田県土地連)

総務企画部広報・渉外班 TEL. 018-888-2742



「農業農村整備フェア」(10月30日～11月5日)を開催します!!

秋田県の農業の祭典『第131回秋田県種苗交換会』が、10月30日～11月5日までにかほ市を会場に開催されます。期間中、本会では農業農村整備事業のPRのため県内国営事務所、秋田県と共催で協賛参考展示「農業農村整備フェア」を協賛第1会場で開催します。皆様の来場をお待ちしております。

- **期 間** 平成20年10月30日(木)～11月5日(水) 9:00～16:00
- **場 所** 旧象潟中学校 (にかほ市象潟町字浜ノ田5)
- **内 容** 各種パネル展示、縄ない体験コーナー、土地改良相談コーナー、カレンダー作成(無料)、その他様々な催しを企画しております。
- **共 催** 東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所、東北農政局平鹿平野農業水利事業所、秋田県(農地整備課・農山村振興課・由利地域振興局農林部農村整備課)、水土里ネット秋田



(昨年の農業農村整備フェアの様子)

8月、野に咲く花

堤防の「ねむの花」



夕方に葉が閉じて、眠ったようになることからつけた名前、漢名：合漢の木(男女の仲むつまじさ、秘め事の意)

「象潟や雨に西施がねむの花」…芭蕉

「ながれ写真集」在庫あります

毎年、好評をいただいております「ながれ写真」について、今年度もようやく発刊の運びとなりました。予約いただいた方々にはお届けしましたが、まだ在庫がございます。

購入希望の方は、水土里ネット秋田 総務企画部総務班(TEL. 018-888-2714)までお問い合わせください。

編 集 後 記

◆4年に1度のスポーツの祭典「北京五輪(オリンピック)」が夏の熱風と共に過ぎ去った。そんな感じがする17日間だった。今回も数々の歓喜や感動、人間ドラマが生まれ、そして悔し涙が流れた。日本選手の活躍では、水泳の北島選手が圧倒的な強さを見せてくれたが、総じて力強く見えたのは女子選手たち。その代表選手が3連投で413球を投げ抜いた女子ソフトボールの上野投手だ。その意地と気迫が金メダルをつかんだと言ってもいいだろう。数々の感動とドラマを生んだ華やかな北京五輪も終了し、夏が終わったかのように急に朝晩が涼しくなってきた。季節の移ろいに時間の早さを感じるが、次はどんな感動に会えるだろうか。

◆第31回全国土地改良大会秋田大会まで、あと50日(8月25日現在)。「あすを拓く大地 きらめく疏水 たくましき郷」のテーマのもと、参加の皆さんに「秋田」らしさを感じてもらおうと、大会の開催に向けて役職員が一丸となって準備を進めているところです。また、秋田らしさと言えば、今年の「地球人フォーラム」(9/7開催：秋田市文化会館)は講師に女優の浅利香津代さんを迎え、「ふるさとと私」の基調講演をしていただくほか、県内で活躍している方々と一緒にまるごと秋田弁による「あきた・トーク」を予定しています。ふるさと秋田の良さ、ふるさとに対する思いをどんな秋田弁で伝えてくれるか興味がつきません。皆さんの参加をお待ちしております。(広報・渉外班◇嵯峨記)

残暑お見舞い申し上げます。



「竿 燈」

水 土 里 ネット 秋 田

(秋田県土地改良事業団体連合会)

| | | | | |
|-------|---------|------|-----------|---------|
| 会 長 | 高 畑 | 進 | 理 事 | 佐々木 紘 一 |
| 副 会 長 | 小 林 富 義 | ” | 山 田 明 | |
| ” | 高 橋 規 男 | ” | 高 貝 久 遠 | |
| ” | 古 谷 英 雄 | ” | 藤 井 弘 道 | |
| 専務理事 | 三 浦 貞 一 | ” | 柴 田 康二郎 | |
| 理 事 | 安 保 富 雄 | ” | 由 利 傳 | |
| ” | 三 澤 敏 行 | 総括監事 | 工 藤 久兵衛 | |
| ” | 戸 田 達 雄 | 監 事 | 加 藤 久 孝 | |
| ” | 安 井 操 | ” | 畠 山 清 俊 | |
| ” | 鈴 木 順 平 | | 外 職 員 一 同 | |